

令和4年度 番組審議委員会 議事録

(株)飯田ケーブルテレビ

■開催日時 2022年6月29日(水) 11:00~13:30

■開催場所 飯田ケーブルテレビ本社
かわ清(食事)

■出席者 審議委員 伊坪 薫 委員長
岩井美季 委員
松尾 勲 委員
勝野芳美 委員

会社代表 原 勉
事務局 吉川治司
平澤 徹

■内容 1、開会
2、挨拶 (原社長 伊坪委員長)
3、議事 (進行 伊坪委員長)
(1) 業務現状報告(吉川)
(2) 放送実績報告(平澤)
(3) 質疑応答

(主な質疑応答内容)

- ・お練りまつりが悪天候にも関わらず細かい映像が撮れていたことと、練習風景から追っていったところもあったのでストーリーを感じられた。文化を発信する番組は大変貴重なので大事にしていってほしいと思う。
- ・健康のための体操を放送しているが、顔を引き締めるような顔の体操を番組として制作したらどうか? 数年マスクをしている影響で顔がたるんで来たり、子供も発語する口の形が見られなかったりすることが気になったり悩みにもなったりしている。
- ・昔は登山やキャンプなど夏休みの学校行事があったが、コロナの影響でなくなってしまった。各学校での良い企画があれば取材して放送して欲しい。
- ・大鹿歌舞伎の中継は反応があった。

- ・テレビの役割も変化してきている。スマホなどの影響で、(情報伝達は)テレビが第一とは言えなくなってきたが、(地域情報を伝える役割として)今後の放送に期待する。
- ・竹林を整理する番組があったがアナウンサーの素直なコメントがきちんと伝わってきてよかった。このような番組は小中学校の総合学習の授業で見てもらいたいのではと感じた。
- ・飯田りんごんの正調踊り等の貴重な過去映像がケーブルには眠っているのではと思う。そういった素材を使って「テレビで踊ろうりんごん」みたいな番組が家族で楽しめるのではないか。ケーブルには本来のりんごん踊りの美しさを再現できる「お宝」があると思う。
- ・アーカイブ映像は意図をもって放送または編集しているのか？
 - 「お練り」の年に過去のお練り映像を見たい、などの要望をいただくことがある。制作時には考えなかったことが、何年も経ってから重要になったり価値が出る素材もある。多くの映像を残すことにも価値があり、またその時代に沿った映像を意図をもって残していくことも大事だと思う。
- ・取材・制作した物を、映像遺産として次の世代に伝えていけるような編集方針を持つことが重要なことだと思う。
- ・コロナ禍の続いた中で最近、お練りまつり、リニア新幹線、信大誘致など活気が出てきているが、これからの飯田ケーブルテレビの役割は？
 - やみくもに物事を伝えるのではなくて、ジャーナリズムとしての目で捉え報道できる力を付けていくべき。